

四国遍路の予定

今年春の計画を去年の春と同様に延期した四国遍路ですが、コロナの状況が好転すれば催行をいたします。

予定日時
十一月十七日(水)〜十九日(金)
(二泊三日)

行先 高知県(土佐)二十四番 最御崎寺、三十九番 延光寺まで
催行決定は十月末頃の予定です。宿は宿坊が閉鎖中のため行程も未定です。

お問い合わせをされた方には分かり次第詳細を案内いたします。また、高野山へは来年の五月中旬の団体参拝を考えます。

真言宗の基礎知識(その四十三)

(弘法大師の系譜)

鎌倉時代には座禅や念仏の信仰も盛んになりますが、高野山は密教の総合的な性格から、鎌倉仏教と対立するのではなく、抱合してさらに展開をしていきます。

それまでは高野山では仏教の研究をする学侶(がくりよ)と呼ばれる僧が主流を占めていましたが、この頃から聖(ひじり)という念仏と高野山の浄土信仰を各地で説き、高野山に納骨を勧める半僧半俗の人たちが集まり始めます。他にも「行人(ぎょうにん)」と呼ばれる山岳信仰で瞑想修行を続けることを目的とする人たちも高野山に登り、勢力を広げて行きます。

それぞれが高野山で様々な方法で弘法大師に繋がって行きました。平安末期から鎌倉時代にかけては、このように修行や実践を重視していた人たちが多かったのですが、時代の変化に応じて教義(きょうぎ)を研究する機運も再び高まっています。

現在、関東の真言宗の寺では、成田不動と川崎大師が双璧で、初詣の人数は全国二位と三位ですが、そのルーツはこの時期の高野山の教学復興でした。

覚鑿(かくばん)という人が平安末期から鎌倉初期に高野山で活躍されていますが、この人は高野山で大伝法院という勉強をするお寺の興隆に尽力をし、その後継者たちは高野山の勢力争いを逃れ、山を下り、紀州の根来寺、そして京都の智積院に本拠を移しながら、弘法大師の教学を発展させ、真言の教えを関東に広める集団に発展させます。

今年後半からの寺行事について

今、コロナ第四波の流行がひと段落し、オリピックが始まるうとしています。またワクチンの接種が進んできました。このまま収束に進むことはかなり難しいようですがコロナ禍の日常の中で出来る事を行いたいと存じます。

①毎月の護摩は参詣者は多かったり少なかつたりとばらばらですが、どなたもこられなくても数人で毎月護摩を焚き、周りが平安になるように続けております。少人数でできますので、心や体がつらい時は御祈願にお越しく下さい。毎月第四土曜日の一時半から行ないます。前日まで電話にてご予約をお願いします。②コロナの流行が収束すれば土砂加持(十一月十三日)。四国巡拝(十一月十七日〜十九日)の実施をします。③十二月には玄冬会を行い、来年三月には得度式(とくどしき)を行う予定です。④高野山参拝は二年連続で中止となっており、来年五月で、来年五月中旬に出来るだけお参りしたいと思います。⑤お寺の納骨堂や永代供養で位牌堂をご利用される方が増えてきました。随時説明をいたしますのでお問い合わせください。

上之坊だより



令和3年6月29日
第90号
福山市大門町大門325
電話 (084) 941-1031
fax (084) 941-1168

弘法大師聖語抄

詩をつくものは古体(こたい)を学ぶ(まな)むを妙(みょう)とし、古詩(こし)を写(うつ)すを能(のう)とせず

テレビで人気の「何でも鑑(かん)定団(ていだん)」ですが、大変なお宝(たから)があるかと思いきや、有名な芸(げい)術家(げいしや)の名前(なまえ)を騙(かた)った能(のう)がない」と説(と)かれます。

偽物(いつぶつ)も多く出てきます。その落差(らっさ)も面白いのですが、よほどのプロ(ぷろ)でなければ真贋(しんかん)は分(わか)りません。昔倣(むかしがら)は分(わか)りませぬ。昔倣(むかしがら)は分(わか)りませぬ。昔倣(むかしがら)は分(わか)りませぬ。

から目先(めさき)の利益(りやく)に手(て)を汚(こ)す人が多(おほ)かった事(こと)を物語(ものがたり)ります。いつまでもずっと続(つづ)きます。

お施餓鬼法要のご案内

おせがき(ロウソク)法要を七月十日(土)夕方六時三十分より行います。この法要は灯明・食物やお水をお供えして、多くの諸精霊の成仏を祈る法要で別名を「施食会」とも言われています。

地獄や餓鬼道に墜ち、飢えや渇きの苦しみで成仏できない精霊に水や食物を供えて成仏できるように願ひ、また最近亡くなられて間もない仏様には一層の菩提の安らかなる事を祈る法要です。

お盆には各地でいろいろな供養の行事が催されますが、このおせがき法要がその一番最初の姿であり、亡くなった方への供養として、大変長い歴史を持つ由緒ある儀式であります。

今も多くのお寺で続けられているおせがき供養ですが、上之坊では亡くなられて三年くらいまでの仏様を中心に、有縁無縁(うえんむえん)の三界万霊への供養をいたします。

午後六時半に夕勤行を始めて夕暮れを待ち、誦経をして、経木塔婆(きょうど)とくばに水をかけて回向をし、最後にロウソクに点灯をしてまいります。

新仏(しんぼとけ)様などで特別に成仏をお祈りいただく場合は、これに二尺半の施餓鬼塔婆をお墓にたてていただくようお願いいたします。できましたら前日までに電話でお知らせください。

このときの志納金は五千円です。(記念品とお菓子付) また一般参拝の方は経木塔婆とロウソクをお渡ししての供養となります。一家族二千円をお願いいたします。(お菓子付)

この一般受付は当日十三日夕方六時十五分より開始いたします。この法要終了後、今年のお盆勤めの日時のご希望を受けます。お盆に近い八月中旬にご希望の方はお残りいただき、ご相談をしたいと思います。

なお、今年もコロナ禍のため、間隔を十分に空けて参加いただきますよう準備をいたしますが、マスクをご持参いただきますようお願いいたします。

令和三年 星祭のお供一覧 (敬称略)

東深津に小規模保育所誕生 東深津町三丁目小規模保育所「未来園東深津」が四月に誕生しました。定員は0歳から2歳までの十九名で、土地と建物は賃貸です。小さな園ですが家庭的な温かさを大切にしたいと思えます。

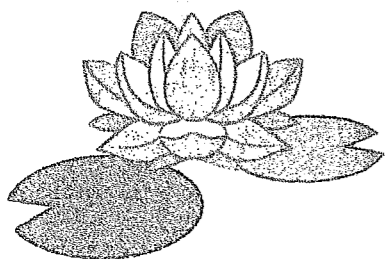
今年のお盆づとめ(棚経)

今年もお盆の時期が近づいてまいりました。昨年同様コロナ禍がどのようになるかが見通せない状態ですので、スケジュールに余裕を持たせて七月二十五日から八月十九日までの期間でお盆勤めを実施したいと存じます。体調管理に努めてお参りしたいと思っておりますのでよろしく願ひいたします。予定は左記の通りですが、お施餓鬼法要以降で夕方から電話でお問い合わせをしたいと思います。コロナ流行の状況にもよりますが、仕事や高齢の方や持病をお持ちの方などで、ご不安のある方は今年のお参りは控えますのでご相談ください。左記の対策を取ります。

・毎朝検温し、お伺い前には携行するアルコール消毒液で手指消毒を行い感染症予防に努めます。・誦経はマスクを着けて行います。・一軒あたりの時間は約十分とします。・ワクチン接種の二回目は七月十四日の予定です。

ご寄付いただきました

- 七月二十五日〜三十一日 個別時間指定希望者
- 八月一日 東谷・伊勢ヶ丘
- 八月二日 中谷・駅前・西谷
- 八月三日 横道・吉浜・能島
- 八月四日 幕山・大谷
- 八月五日 石樋・引野古地
- 八月六日 福山市東部(大門町南部)
- 八月七日 曙・新涯・川口・野上
- 八月八日 引野・蔵王・春日・手城・深津
- 八月九日 福山市中央部・福山市西部・尾道市
- 八月十日 幕山台・大谷台・伊勢ヶ丘等住宅地
- 八月十一日 福山市中心部・笠岡市
- 八月十二日 福山市中央北部・神辺等福山市北部
- 八月十三日〜十五日 新仏など(施餓鬼にて受付)
- 八月十六日〜十九日 時間指定を希望される方



一期一会(いちごいちえ)

掛け軸でよく見かける言葉です。「一期」とは、仏教用語で「人が生まれてから死ぬまでの期間」の事で「一生」と同じ意味となります。「一会」は「一回だけ」の意味です。ですから「一生に一度だけの機会」の事を言っています。

最初にこの「一期一会」を書いたのは幕末の大老で大名の井伊直弼(いいなおすけ)とされています。しかし、それ以前に、千利休の弟子の宗二が「一期一会」を「茶会は一生涯に一度と考え、大切に行うべき」と書いたのがその始まりと言われています。いつまでもあると勝手に思っている毎日、今を大切にしなければならぬ一生は夢幻の中で終わってしまうかもしれません。井伊直弼は日本の国は開国するのが正しいと信じて、強い意志を持って改革を押し進めました。しかし敵も多く、最後は桜田門外の変で殺されてしまいました。明日には会えなくなる人がいることを想像して今を生きる、その覚悟が欲しいと思えます。